

# まちづくりの提言



平成24年9月

鹿児島市子どもミーティング

= 目 次 =

1.	事業の趣旨	.....	1
2.	開催状況	.....	1
3.	コーディネーター・サポーター	.....	1
4.	活動状況及び提言	.....	2
	1班「ボルケーノ」	.....	2
	2班「日本茶ユニオンジャック」	.....	10
	3班「smileco-薩摩おごじょ・はやと」	.....	18
5.	子どもミーティングに参加して	.....	26
6.	子どもミーティングに寄せて	.....	35

## 1. 事業の趣旨

次世代を担う子ども達が鹿児島市のまちづくりについて、アイデアを出し、夢を語り合い意見交換を行う「子どもミーティング」を開催し、その意見を市政運営の参考とすることで、若い世代の市民参画を推進する。

## 2. 開催状況

第1回：7月30日（月）14:00-16:00 於. かがしま市民福祉プラザ  
趣旨説明、市政概要説明（市政ガイダンスビデオ上映）  
意見交換（オリエンテーション、活動計画協議など）

第2回：7月31日（火）13:00-17:00  
まちづくり探検

第3回：8月9日（木）14:00-16:00 於. かがしま市民福祉プラザ  
意見交換（協議）

第4回：8月10日（金）14:00-16:00 於. かがしま市民福祉プラザ  
意見交換（協議・まとめ）

第5回：8月16日（木）14:00-16:00 於. かがしま市民福祉プラザ  
意見交換（発表）

## 3. コーディネーター・サポーター

### （コーディネーター）

かがしま近代文学館・メルヘン館 アドバイザー 石田忠彦氏  
（鹿児島大学名誉教授）

### （サポーター）

鹿児島県立短期大学 名誉教授	橋口晋作氏
南日本リビング新聞社 取締役営業局長	山内聡胤氏
NPO法人かがしま探検の会 事務局長	東川美和氏

#### 4. 活動状況及び提言

##### 1班 「ボルケーノ」



##### テーマ「桜島～桜島で桜島を考える」

サポーター 橋口晋作 先生

リーダー	渡口 薫	(鹿児島中央高等学校)
班員氏名	堀ノ内 夏菜	(鹿児島女子高等学校)
〃	御領原 里紗	(鹿児島中央高等学校)
〃	満永 さくら	(南中学校)
〃	英 涼子	(南中学校)
〃	尾辻 汐梨	(紫原中学校)
〃	鶴屋 禅児	(鹿大附属中学校)

## (1) 活動のねらい

1 班は、現在ジオパーク認定に向けた検討が行われている「桜島」をテーマとし、実際に桜島を訪れてその魅力を体感することによって、ジオパーク認定に向けた取り組みや、より多くの観光客に訪れてもらうための提言を行うこととした。

## (2) まちづくり探検

NPO法人桜島ミュージアム・福島理事長のガイドのもと、以下の施設を見学して桜島の成り立ちや過去の大噴火の状況、自然のうつり変わりについて学習し、桜島の魅力をどのように発信しているのかを検証した。

### [探検先]

#### ① 桜島ビジターセンター

桜島の成り立ちやしくみ、地形や地質などについて学ぶことのできる施設。

- ・シアタールームでビデオを見ることができて、探検の予備知識を得ることができた。
- ・噴火についての資料が幅広く集められていた。
- ・植生遷移の詳しい説明書きがあって、理解が進んだ。
- ・桜島の地層の展示が興味深かった。
- ・リアルタイムで火山活動を見ることができた。

#### ② 大正溶岩原・桜島溶岩なぎさ遊歩道

- ・大正溶岩を目の前に見ることができた。
- ・植生遷移の様子を、直に見ることができた。
- ・桜島溶岩なぎさ公園には足湯が設置されていて、ほっとできた。

#### ③ 湯之平展望所

桜島岳の4合目に位置する展望所。桜島や錦江湾を隔てた鹿児島市街地を一望でき、なおかつパネルによる説明でより深く桜島について考えることができる施設。

- ・円形の建物なので、いろいろな角度から桜島を見ることができる。
- ・大きな窓で、展望するのにながっていた。
- ・望遠鏡も設置されていたので、都合がよかった。
- ・ベランダを回って展望すると、植生遷移の様子がよくわかった。
- ・ベランダに説明書きのパネルが設置されていて、見学に役立った。
- ・桜島の噴火口を、今一番近くで見ることができるところであった。

### (3) まちづくり探検で気付いた課題

#### ① 桜島ビジターセンター

- ・シアタールームのビデオが少し大人向けで、中高生には難しい部分があった。
- ・音声案内がほしい。
- ・桜島の灰に触れられるようにしてほしい。
- ・キャラクターの活用を考えてほしい。
- ・学校教育で活用してほしい。

#### ② 大正溶岩原・桜島溶岩なぎさ遊歩道

- ・案内板に灰が積もって、説明が読めなかった。
- ・四阿（あずまや）に音声ガイドをつけてほしい。
- ・公園の足湯に鉱泉の説明などがほしい。

#### ③ 湯之平展望所

- ・一般用駐車場が離れていて、足の不自由な人には不便である。
- ・強風で、窓のシャッターが騒音を立てていた。
- ・展示が大人向けだった。
- ・建物の内側にも、説明書きがほしかった。
- ・外で写真を撮りたくなるような工夫がほしかった。

### (4) 提言

#### 提言1 桜島ビジターセンターについて

- ① シアタールームのビデオは、桜島を見学する上でとても参考になるので、桜島を訪れる人にはこれを見てから見学・観光するように勧める。
- ② 桜島のマスコットキャラクターを新しくつくるか、「さくらじまん」を活用して、子ども向けにアニメ調のビデオを作製する。また、キャラクターをサイトやグッズの作製にも活用する。
- ③ 展示スペースで、音声による説明が聞けるようにする。
- ④ 桜島の灰を展示して、灰に触れるようにする。

#### 提言2 大正溶岩原・桜島溶岩なぎさ遊歩道について

- ① 降灰がひどく戸外の案内板が役に立たないので、屋根のある四阿（あずまや）を活用して、ここに案内板や音声ガイドを設置する。

- ② 桜島溶岩なぎさ公園にある足湯に、鉱泉の説明や、火山と温泉の関係を説明した案内板を設置する。

### 提言3 湯之平展望所について

- ① 展望所のベランダに、記念写真の撮影スポットをつくる。
- ② 窓の上部を利用するなどして、建物の内側にも、窓から見える景色についての説明書きを設置する。

### 提言4 桜島全般について

- ① ガイドの説明で見学のポイントが分かったので、専門ガイド付きの島巡りなどが行われるように準備する。
- ② 中学校で火山について学習する際に、桜島で火山を学ぶ「ジオ遠足」を行うようにする。
- ③ いろいろな案内板に英語・中国語・韓国語の訳が付いていたが、スペースのあるところにはどんどん入れて、外国人がたくさん訪れるようにする。
- ④ 溶岩や火山灰を使った商品の開発に努める。



## 活動状況（1班）



第1回（7月30日）  
松木園副市長のお話



班のみんなと初対面



第2回（7月31日）  
このメンバーで探検します





海を眺めながら足湯体験



湯之平展望所から見た桜島



ガイドは、NPO法人桜島ミュージアムの福島理事長



第3回（8月9日）  
みんなで意見交換



第4回（8月10日）  
発表資料の作成



資料が完成しました



第5回（8月16日）  
意見発表  
1班はトップバッターです



橋口先生の講評



最後は少数精鋭でがんばりました



## 2班「日本茶ユニオンジャック」



テーマ「スポーツ～スポーツ振興のための計画づくり」

サポーター 山内 聡胤 先生

リーダー	森 政之	(鹿児島玉龍高等学校)
班員氏名	今村 満理奈	(鹿児島女子高等学校)
〃	花立 美咲	(鹿児島中央高等学校)
〃	末川 遥菜	(甲南中学校)
〃	辻 野乃子	(和田中学校)
〃	松田 樹	(鹿大附属中学校)

## (1) 活動のねらい

2班では、鹿児島市のスポーツ施設の見学やニュースポーツの体験及び実際にいろいろな分野でスポーツに取り組んでいる人の話を通じて、スポーツの持つ様々な力について学び、スポーツの力をどのように活用すれば、鹿児島を魅力あるまちにできるかを考えた。

## (2) まちづくり探検

### [探検先]

#### ① 鹿児島アリーナ

- ・鹿児島アリーナの施設の状況を見学し、その充実度が分かった。
- ・鹿児島市のスポーツ施設の利用状況が把握できた。
- ・ニュースポーツを体験し、スポーツを通して繋がるコミュニケーションや楽しさを体験できた。

#### ② 鴨池公園水泳プール

- ・鴨池公園水泳プールの施設の状況を見学し、その充実度が分かった。
- ・鹿児島市のスポーツ施設の利用状況が把握できた。

#### ③ NPO法人SCC (太田敬介理事長の講話)

- ・子どもから高齢者までスポーツを通して繋がるコミュニケーションの魅力と楽しさ、豊かさ、生きがい、スポーツの楽しみ方を学んだ。
- ・スポーツを活かしたまちづくりの事例について学んだ。
- ・日本を代表するトップアスリートを育成する土壌づくり(設備、環境、地域の取り組みなど)について学んだ。

#### ④ FC鹿児島 (東理香氏、山内智裕選手、辻真人選手の講話)

- ・サッカーの楽しさ、楽しみ方を教わった。
- ・FC鹿児島の目的や、鹿児島にプロチームができることの効果を学んだ。
- ・日本を代表するトップアスリートを育成する土壌づくり(設備、環境、地域の取り組みなど)について学んだ。

## (3) まちづくり探検で気付いた課題

- ① 学校教育の一環としてスポーツをしているため、社会人になってからスポーツへ取り組む意識が低い。

- ・そのために、スポーツに対して苦手意識を持ち、積極的にスポーツをする気持ちになれない人がある。
- ・そのために、社会人になってから、競技技術の向上や選手権への参加などを目的にした、スポーツを行う環境や設備が整っていない。

## ② スポーツの効果への理解度が低い

- ・単なる体力づくりや競技技術の向上だけがスポーツの目的と捉えられ、その他多くの効果があるのにも関わらず、認知されていない。

## (4) 提言

### 【スポーツの効果】

- ・ 人との交流
- ・ 地域の活性化（観光）→経済効果
- ・ 競技の技術力を上げる
- ・ 身体機能の回復
- ・ 異年齢間の交流
- ・ 健康になる→医療費の削減
- ・ 親善試合などでの国際化
- ・ ストレス解消

### 【効果に則した鹿児島市のスポーツ振興の目標】

- ・ 全国一の体力を誇るまちづくり
- ・ 全国でトップレベルの選手を出す
- ・ スポーツを楽しめる場所をつくる
- ・ 高齢者が健康になるために一人ひとつはスポーツをする
- ・ 観光資源にする
- ・ スポーツで移住する人を増やす

### 【目標に則した鹿児島市のスポーツ振興プラン】

1. 市民はっらっプラン
2. E n j o y スポーツプラン
3. 健康若返りプラン
4. もりももりもりプラン

### 提言1 市民はっらっプラン

- ① 5月と10月に市民運動会を開催し、自分の好きな種目、得意な種目

- にエントリーして競技を行う。
- ② 季節ごとに市内を一周する市民マラソンを開催する。
  - ③ 年齢層ごとに距離を決め、トライアスロンを行う。
  - ④ スポーツのことを少しでも知ってもらうために、筆記試験と実技試験を行うスポーツ検定を学校で行う。

## 提言2 Enjoyスポーツプラン

- ① 中央公園などに球技などができる場所を作って、道具の貸し出しを行い、スポーツを推進する。
- ② かがしま健康の森公園や鴨池公園水泳プールなどで運動をした際に、1時間につき1ポイントを付与し、150ポイント貯まったら、500円の図書券を贈呈する。

## 提言3 健康若返りプラン

- ① 体を動かせる60歳以上の元気な人は運動をするという条例をつくる。
- ② いろいろな種目のプロ選手を招いて、スポーツ教室を開催する。
- ③ 地域ごとにラジオ体操を行い、一番輝いていた人を表彰する。

## 提言4 もりもりもりプラン

- ① 鹿児島をスポーツで有名なまちにするために、スポーツ施設を増やす。
- ② ニュースポーツを新しくつくり、観光資源にする。



## 活動状況（2班）



第1回（7月30日）  
山内先生と初対面



班ごとに活動計画協議



第2回（7月31日）  
NPO法人SCC  
太田理事長のお話



鹿児島アリーナで  
ニュースポーツ体験



昨年新しくなった  
鴨池公園水泳プール



F C鹿児島の選手に  
サインもらっちゃいました



第3回（8月9日）  
意見交換  
真剣な表情です



第4回（8月10日）  
発表資料の作成



楽しいアイデアができました





第5回（8月16日）  
議論の結果を発表します



他の班からの質問にも答えます



最後に記念撮影

### 3班 「smilecoー薩摩おごじょ・はやと」



#### テーマ「環境～ごみ減量とエコ生活のススメ」

サポーター 東川美和先生

リーダー	飯島杏香	(城西中学校)
班員氏名	大山美穂	(鹿児島玉龍高等学校)
〃	大渡真由	(鹿児島女子高等学校)
〃	田口碩大	(鹿児島中央高等学校)
〃	山下紗里菜	(甲南中学校)
〃	塗木菜生	(南中学校)
〃	田邊智行	(鹿大附属中学校)

## (1) 活動のねらい

3班は、様々な環境問題があふれている世界そして鹿児島県の現状を「知りたい」、環境に配慮した行動ができるよう私たちの意識を「変えたい」、そして私たちの生活を「見直したい」、という3つの「たい」をモットーに、自然、ごみ、エネルギーなどの環境について学び、意見交換を行った。

## (2) まちづくり探検

### [探検先]

#### ① 環境未来館

環境全般について、意識を向けることができる施設。館そのものも屋上緑化や地下水利用の空調など環境に配慮した造りになっている。環境に関する様々な講座なども行われ、見学当日も大勢の親子連れでにぎわっていた。

鹿児島県という場所で都市生活を送るうえで、どのくらい「環境」について意識しているか振り返るため見学した。

#### ② 小山田発電所

九州初の営業用水力発電所として運転を開始した発電所。想像より小規模だという感想もあったが、電力の供給が始まった当初の電力規模を具体的に感じられた。また原子力発電をはじめ、エネルギーに関する論議が行われる現在において、さまざまな場所や方法での発電方法があるのではないかとこの可能性について考える機会になった。

#### ③ 上之原配水池

七窪水源地より導水し、大正8年に完成した配水池。当時の市街地に水道が通った。鹿児島県が都市化する中で初めて設けられた水道施設が、現役で使用されているということ、地形を利用し少ないエネルギーでの通水を可能にしていることなどに、普段は気づきにくい、都市機能の重要性と工夫に着目できた。

#### ④ 城山展望台

鹿児島県市街地と桜島を一望できる展望台。西南戦争終結の場としての歴史もあり、市内随一の観光地であるが、良好な景観を守るための景観条例の視点場の一つでもある。都市として機能的であること、快適に暮らすこと、環境を守ること、景観を維持することなど、様々な考慮すべ

き視点があることを、市街地を見ながら考える機会をもてた。

### (3) まちづくり探検で気付いた課題

- ・ 環境未来館では、私たちが普段気付かないことを気付かされた。
- ・ 自分たちが贅沢に生活している一方で大変な思いをしている人々も世界にはたくさんいることがわかった。
- ・ 環境未来館のリユース・リサイクルショップは、使わなくなったものをポイントと交換してくれるので、不法投棄がなくなると思う。
- ・ マイクロ水力発電（家庭で簡単にできる水力発電）を知った。
- ・ 普段行けないような場所に行き、配水池の仕組みや城山展望台からの景色を見ることができた。

### (4) 提言

#### 提言1 電力供給について考える～どうする？電力供給～

- ① 環境を破壊しかねない大規模な発電施設に頼ることがなくなるよう、排水等を利用したマイクロ水力発電を普及させ、家庭レベルでの発電が行われるようにする。

#### 提言2 活用しよう自然のPOWER

- ① 環境未来館に設置されているような地下水を利用した床冷暖房を、学校や他の公共施設にも設置する。
- ② 学校の体育館の屋根に太陽光発電を設置し、校舎の屋上は緑化を行う。
- ③ 緑あふれる街中にするとともに、歩道の歩行者側と自転車側の区別がわかりやすくなるよう、歩行者側の緑化を行う。

#### 提言3 世界はつながっていることを教えてくれた環境未来館をもっとつなげよう

- ① 環境未来館の展示をもっと多くの人に見てもらうため、既存の公民館などを利用して、環境未来館の支店を建設する。
- ② リユース・リサイクルショップのポイント制をたくさんの人に利用してもらうため、鹿児島市に住んでいる人や市内の学校に通っている人以外の人にも、ポイント制を利用できるようにする。その場合、市民の不満を減らせるよう、鹿児島市民に付与するポイントを他の地域の



人の2倍にする制度を導入する。

小さな工夫からでも続けることでよりよい町づくりができるのではないのでしょうか。町・人々・環境、ともに明るい未来を目指して今から変えていきましょう。

## 活動状況（3班）



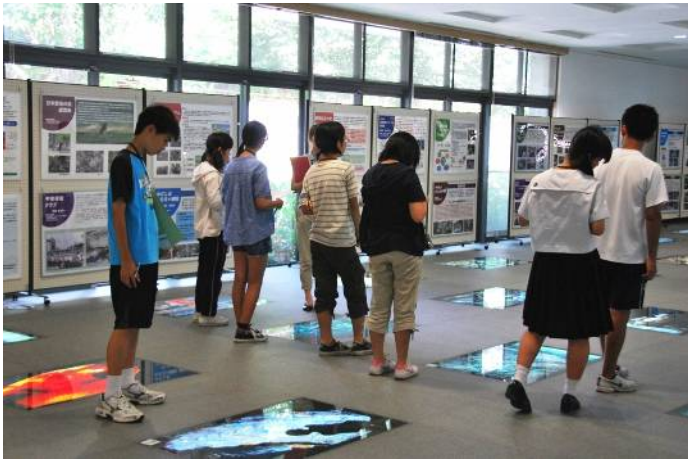
第1回（7月30日）  
石田先生のお話



自己紹介を兼ねて  
共通点探しゲーム



第2回（7月31日）  
いざ、探検へ出発！！



環境のために  
僕達に何ができるのかな



九州初の営業用水力発電所  
である小山田発電所



城山には緑がいっぱい



第3回（8月9日）  
いろいろな意見がでました



第4回（8月10日）  
パソコンを使って資料作成



第5回（8月16日）  
いよいよ発表です





パソコン操作もお手の物



東川先生の講評



お疲れさまでした

## 5. 子どもミーティングに参加して

### 【 1 班 】

#### ○ 鹿児島中央高等学校 1年 渡 口 薫

今回の子どもミーティングに参加して改めて鹿児島について考えました。

僕が所属していた班は、鹿児島のシンボル「桜島」について調査していました。現在、桜島は活動が活発で1日に何度も噴火しており、降灰による影響で電車の運行の妨げになるなどの公共の乗り物に与える影響のほか、桜島付近の植物を枯らしてしまうなど、僕たち鹿児島に住む人々にとってはあまり良いものとは言えません。しかし、この火山灰はサツマイモの栽培に適しており、生産量は全国一を誇っています。また、火山活動が活発なので温泉地も多いため、観光地としても人気があります。このように、桜島には鹿児島にとってとても重要な役割も担っています。鹿児島により多くの人を訪れたいような観光のしやすいまちに、火山灰が少ないきれいな鹿児島にしていきたいと思いました。

#### ○ 鹿児島女子高等学校 2年 堀ノ内 夏 菜

今回初めて子どもミーティングに参加させて頂きましたが、とても得るものが多く、思い出に残る貴重な体験でした。私は桜島班として活動しましたが、たくさんの桜島の魅力を見つけることができました。

第2回目のときにグループで桜島を訪れたのですが、まず目に飛び込んできた風景が、一面火山灰というものでした。最初に訪れた桜島ビジターセンターには、本物そっくりな地層や森林の模型があったり、本物の火山岩が展示されていたりと、驚きの連続でした。説明をしてくださった福島さんの話も驚くことばかりで、桜島のすばらしさをたくさん発見することができました。最後に訪れた湯之平展望所から見る桜島は、迫力があってその山肌の力強さに感動しました。実際桜島に行ってみて、「なんで今までこの魅力に気付かなかったのだろう」と心底思いました。県内の方にはもちろん、県外、外国の方々にも、桜島の美しさ、たくましさに気付いてもらいたいと思います。

#### ○ 鹿児島中央高等学校 1年 御領原 里 紗

私は「子どもミーティング」に桜島班として参加しました。桜島には観光

で行ったことはなかったので、今回の見学を通して、私たちの地域に根付く桜島の文化や歴史、魅力を知るよいきっかけとなりました。私のように鹿児島市民であっても桜島に行ったことがない人は多いのではないかと思います。桜島での行事や催しを積極的に開き行い、それで終わりではなく、桜島の観光ツアーをセットにして行うことで、多くの人にその桜島の雄大な自然を感じてもらえると思います。また、今回見学した桜島ビジターセンターと湯之平展望所は、全体的に大人向けだったと思います。ビジターセンターで観たビデオはアニメ調にして、桜島のイメージキャラクターである「さくらじまん」を全面に押し出すべきと考えます。湯之平展望所も同様に、大人でも子どもでも楽しめる工夫が必要です。ガイドさんの説明は、分かりやすくとても楽しかったです。

#### ○ 南中学校 2年 満 永 さくら

私は、今回子どもミーティングに参加して、自分で発表する大切さが分かりました。自分で発表することによって、桜島の何かが変わると思うと、発表することに意味があるんだなあと思いました。子どもミーティングの感想は、実際に見学して、良いところと、改善したほうが良いところを確認してから、発表するという事は、いい考えだなあと思いました。本当に発表の内容を考えると、行ったから決められたので良かったです。他のチームも、発表が分かりやすく、「ああ、なるほどね」というふうに共感したりできて、楽しかったです。今回は参加できて本当に良かったです。ありがとうございました！

#### ○ 南中学校 2年 英 涼 子

私は子どもミーティングを終えて、鹿児島島について深く考えることができました。自分の班のテーマであった“桜島”のことだけでなく、“スポーツ”や“環境”についても、最後の日の発表では考える機会がありました。まちづくりの夢やアイデアとは少し違うかもしれませんが、私が今回の子どもミーティングを通して思ったのは、この企画を続けてほしい、ということでした。理由は3つあります。1つ目に、子どもが身近なところから改善点を見出す学習の場として素晴らしい題材と環境だったことです。2つ目は、単純に鹿児島島について早くから深く知り考えることが出来るからです。そして3つ目に、何より子どもが鹿児島島について深く考えることで、次世代のまちづくりの充実を期待できると思ったからです。これらの3つと私の体験をふま



えて、できればこの企画は続けてほしいと思いました。そして、まちづくり  
に役立てばもっといいなと思います。

#### ○ 紫原中学校 2年 尾 辻 汐 梨

私は「桜島」について調べました。

桜島にある展望所などを実際に見に行き、班のみんなとたくさんの意見を述べる  
ことが出来ました。私はパソコン係をしていてあまり述べるが出来ませんでしたが、  
中高生という年齢の中でも話せてよかったです。少し私が気がかりなところは、  
ジオパークでの「順路」がいまひとつ分からなく、今回、私たちは案内係の人が  
ついていましたが、ついていない観光の人でも分かるように「順路」という札を  
置き、案内できたらより良かったと思いました。

来年度また、次の人たちがたくさんの意見を言えたら良いなあと  
思いました。

今回は本当にありがとうございました。

#### ○ 鹿大附属中学校 1年 鶴 屋 禅 児

「博物館と公園を一体化させる」

私は、幼い頃から古生物学者になりたいと思っていたので、福井恐竜博物館  
へは何度も出かけましたが、その森がジオパークとしてとても魅力的です。ぜ  
ひ、参考にしてください。

桜島でも、地球の誕生から歴史をたどり内部構造などを学ぶ場所として、博  
物館を作るべきです。火山の噴出物と様々な岩石や鉱物の成り立ちについて、  
幼い頃から興味を持てるように工夫してほしいです。

そして、岩石をモチーフにした魅力的な公園を併設します。パーク全体に  
様々なテーマを持ったポイントを作ります。ビオトープ等を作り、温泉プール  
も作って、子ども達が通いたくなるような楽しみも作りながら、“地球”とい  
うものの神秘さや長い年月をかけて出来上がったものの大切さを伝えるため  
に、何度も行きたくなる場所にします。すると、鹿児島から地学博士がたくさ  
ん出るかもしれません。

## 【 2 班 】

### ○ 鹿児島玉龍高等学校 1年 森 政 之

私は今回の子どもミーティングでスポーツ班に所属し、スポーツ振興のための計画づくりを班の皆と協力して考えました。自分たちのスポーツ班は、少人数に分かれて、多くの意見を出し合うスタイルをとりました。

自分たちは「スポーツで鹿児島を元気にする」という大きな目標を立てました。そのためには、市民大会を増やしたり、スポーツ施設を増やしたりして、スポーツで鹿児島を有名にします。またクラブチーム等のマスコットキャラクターを作ったり、ニュースポーツを独自で考えたり、他県から来た人も気楽にスポーツができるようにして、スポーツを観光資源にします。するとスポーツをする、見ることを目的とした観光客が増え、もしかすると移住する人も増えるかもしれません。これによって大きな経済効果が生まれ、鹿児島が元気になると考えました。実現するのは難しいと思いますが、一つの意見として考えていただけないでしょうか。

### ○ 鹿児島女子高等学校 2年 今 村 満理奈

今回の「子どもミーティング」を通じて、私は、鹿児島のスポーツについて知ることができました。

まちづくり探検では、鹿児島アリーナや鴨池公園水泳プールを実際に訪れて、NPO法人の方の話やFC鹿児島の方の話聞いて、もし鹿児島が、スポーツの強い県となると、鹿児島にすごい経済効果をもたらすということを知りました。もしも、スポーツの強い県として鹿児島が有名になると、鹿児島の経済は発展すると思います。鹿児島が発展するためには、私たちのグループが考えたプランを実行すれば達成できるのではないかと思います。プランの内容の中には、スポーツを子どもから高齢者の方まで行えるような条例を作るというものや、スポーツを市が運営している場所で行ったら、1時間につき1ポイントを差し上げ、500ポイント貯まったら図書券を差し上げるというプランもありました。このプランで、鹿児島がスポーツによって発展すればいいです。

### ○ 鹿児島中央高等学校 1年 花 立 美 咲

私は「子どもミーティング」に参加して、まちづくりについて深く考えるこ

とができました。今回は、スポーツという視点から、みんなで意見交換をし合い、アイデアをまとめました。私が考えたスポーツを通してのまちづくりのプランは、「健康若返りプラン」と「市民はつらつプラン」というものです。

「健康若返りプラン」の目標は、高齢者の方が健康になるために1人1つはスポーツをする市を目指すことです。そのために、条例をつくること、スポーツ教室に参加すること、ラジオ体操を行うことをプランの内容としています。「市民はつらつプラン」は、全国一の体力を誇る市を目標としています。プランの内容は、市民運動会と市民マラソンを定期的を開催すること、年齢層ごとのトライアスロンを実施することです。どれか1つでもプランを実行し、よりよいまちづくりのために役立てばいいなと思います。ありがとうございました。

#### ○ 甲南中学校 2年 末川 遥菜

私は、今回この「子どもミーティング」で、スポーツについて多くのことを学びました。普段あまり考えることのなかった鹿児島市のまちづくりについて、子どもならではの視点で見つめ、考えられたことは、とてもよい経験になりました。また、様々な場所に行き、ニュースポーツの体験やいろいろな方のお話を通じて、スポーツによって地域の活性化を図り、鹿児島が元気になることなどを学びました。そして、スポーツがもっともっと好きになりました。これからもスポーツの効果を活用して、スポーツを楽しみたいです。そして、いつか私たちが考えた目標が本当に叶うことを楽しみにしています。また、桜島班と環境班の目標等に関しても、とても興味深く、私も考えてみたいと思いました。これからの鹿児島の桜島・スポーツ・環境がどのように変わっていくか、とても楽しみにしています。

#### ○ 和田中学校 2年 辻 野乃子

子どもミーティングを終えて、私は参加できてよかったなあとと思いました。私はスポーツのまちについて体験したり、話を聞いたりしましたが、参加するまで、鹿児島をスポーツでよくしていこうなど、考えたことはありませんでした。しかし、今回この子どもミーティングに参加して、鹿児島をスポーツで元気にできたらいいなと思いました。60才以上の人でスポーツをする人は少ないと思いますが、60才以上の元気な人はスポーツをすると決めれば健康になるし、1人でも多くの人が少しでも長生きできると思います。また、スポーツを〇時間したら図書カードをプレゼントするなど、景品を作れ

ば、いろいろな人がスポーツをしたいと思います。そして、スポーツで鹿児島を有名にし、F C鹿児島などを見に来る人が増えると観光資源になり、経済もよくなると思います。これからの鹿児島市は、スポーツでたくさんの人を笑顔にし、元気を与えられるようなまちにできたらいいと思います。

#### ○ 鹿大附属中学校 1年 松田 樹

僕が「子どもミーティング」に参加して、感じたこと、そして提言することは、「スポーツというつながりの源となるもののすばらしさを、鹿児島市内、鹿児島県内のたくさんの人に知ってもらいたい」ということです。

様々な施設見学やF C鹿児島の選手の話聞き、「鹿児島では、意外にも、スポーツに関係するイベントなどを行っているんだな」と思いました。鹿児島をスポーツで元気にしよう、発展させようと努力する人たちのためにも、スポーツで鹿児島を盛り上げるための、政策や条例、イベントなどを実行していくべきだと思います。

老若男女問わずに、スポーツをし、楽しんで、人と人がつながり合ってこそ、スポーツで鹿児島を、ということだと思います。

未来の鹿児島のためにも、それを支えて下さっている人達のためにも、今、動き出すべきだと僕は思います。

## 【 3 班 】

### ○ 城西中学校 2年 飯島杏香

ミーティングを終えて、鹿児島県の今の環境を知ることができました。その中で一番気になっていたのが、緑化についてです。路上緑化はごく一部しかなく、屋上緑化もある一部のみ、緑化があまり進んでいないように感じます。もっと緑を増やすべきではないでしょうか。緑の町、鹿児島というキャッチコピーでも恥ずかしくないような環境を、私はつくってほしいです。そうすることによって、緑と建物がきれいに混ざりあい、きれいな町づくりの土台になれると思います。そうしたら、当然、観光客も増加し、活気のある場所になると思います。なので、私は、「緑化の推進」に力をそそいでほしいのです。自然の緑も素晴らしいですが、人工的にある芝生や木々は、とても見映えが良いものです。必ず目の片隅には緑が入っている景色をつくる。そんなことができれば、鹿児島市だけでなく、鹿児島県ももっと素晴らしい場所になると私は思います。

### ○ 鹿児島玉龍高等学校 2年 大山美穂

私は「環境」班として、鹿児島市のごみ減量とエコ活動の推進について考えました。まちづくり探検で訪れた3つの場所の現状から、電力・緑化・リサイクルの3つについての意見が挙げられました。安全で未開拓地の多いマイクロ水力発電の普及。ソーラーパネルや緑のカーテンの設置。地下水や雨水の有効活用。リユース・リサイクルショップの運営の幅を広げること。ポイント制度改革や支店建設は、市だけでなく県全体にリサイクル意識を持たせることが出来ると思います。「わたしたちがしてきたこと、わたしたちがすべきこと」環境未来館のブースに掲げられていたこの言葉が、最も大切なことかもしれません。大量消費・生産で浪費されてしまった資源。これらをどう使っていくかは、私たちに委ねられています。後世に美しい自然あふれる鹿児島を受け継ぐためにも、一人一人が意識を持つことが必要です。この提言が少しでも反映されることを願います。

### ○ 鹿児島女子高等学校 2年 大渡真由

今回の子どもミーティングに参加して、はじめて見聞きしたことや、普段深く考えないようなことまで考えさせられました。

この子どもミーティングを通して、一つ目に、電車の線路だけでなく歩道の歩行者の歩く所を一部でもいいので緑化したいと思いました。自転車でも歩行者でも、どちらを通ればいいのか分かりにくいので、緑を使って区別したいです。二つ目に、天文館や人通りの多い商店街などに、大きなごみ箱とリサイクルボックスを置きたいです。目立つようにしたらポイ捨てもなくなり、こまめに分別して捨てるようになると思います。最後に、地下水や井戸水で空調を調節していると環境未来館で聞き、他の公共施設にも利用できないかと思いました。また、雨水も利用していると聞き、それをロードスイーパーにも利用できないかと考えました。一人の力でできないようなことも、提案できたことがうれしかったです。今回のことを通して、私の大好きな鹿児島が私たちの生活でもっとよくなっていったらいいなと思いました。

#### ○ 鹿児島中央高等学校 1年 田口碩大

今回「子どもミーティング」を終えて思ったことは、本当に参加してよかったなということです。1回目は、どんな会になるのだろうか、とても緊張しました。2回目は、現地に見学に行き話を聞いたりしました。みんなが深く考え質問や探検をしたことは、今でも覚えています。3～4回目は意見まとめで、パソコンを使うのに苦労しました。周りの助けがあって本当にうれしかったです。最後の意見交換会では、自分たちの仕上げを発表しました。自分で言うのも何ですが、どの班もうまく活動をまとめられていると思いました。市について深く考えることで改善点などを探し意見することが、市がよりよくなることにつながればうれしいです。

最後に、私達をサポートしてくださった東川先生、周りのサポートの方々、ありがとうございました。

#### ○ 甲南中学校 2年 山下紗里菜

私たち環境班は、環境未来館の支店の建設とポイント制の普及を提言として発表させていただきました。

このような機会がないと、なかなか環境について調べることもないので、初めて知ることがたくさんありました。

個人的には、小山田発電所に行けたことがとても心に残っています。普段行けない場所であることも理由の一つですが、水力発電所に行ったことがなかったのも、行ったときは感動しました。山の上の方にある発電所は、大自然に囲まれていて、日本にはまだこんな場所があるのかと、大げさながら思

ってしまいました。

本当にこの子どもミーティングに参加できてよかったです。ありがとうございました。

#### ○ 南中学校 2年 塗木 菜生

私はこの子どもミーティングに参加して良かったと思います。

私は部活動や生徒会をしていないので、他校の人とふれあう機会がありませんでした。初めて会ったときは、うまくやっていけるか心配していましたが、メンバーが優しくしてくれたので、その後も良い調子で進めていくことができました。

子どもミーティングに参加したことで、鹿児島市の環境への取り組みを知りました。

まちづくり探検を行ったり、意見交換をしたりして、自己主張ができました。

また、発表も自分たちの伝えたいことが言えたので良かったです。

ぜひ私たちが考えた案を実行してくださると、もっと鹿児島市が良くなると思います。

ありがとうございました。

#### ○ 鹿大附属中学校 1年 田邊 智行

僕は、この事業に参加するまで鹿児島市のまちづくりについて考えたことはほとんどありませんでした。僕の学校では、総合の時間に出前トークをしてもらいました。そこでは、鹿児島市の取り組みなどを知ることができました。学校では今グループに分かれて活動しています。そこで僕は、緑について考えるグループです。「子どもミーティング」でも環境班でほとんど同じような活動を行いました。この事業では、学校での活動以上の、普段体験することのできないことも行いました。このことを学校でのグループ活動に生かしたいです。そして、この事業をもっとこうすれば鹿児島市がよりよくなると思って発表したことが実現したらいいです。また、学校だけではなく、家族や地域の人にもこの事業で学んだことを伝えたいです。



## 6. 子どもミーティングに寄せて

「子どもミーティング」も今年で3年目になりました。

今年度は、今までと違って、「桜島」「スポーツ」「環境」の三つのテーマをあらかじめ決めておいて、そのテーマごとに、中高生を募集しました。そのせいもあって、意欲のある学生生徒の皆さんが応募してくれました。

また、それぞれのテーマごとの班に、NPOや各グループなどから、説明者に来てもらい、その分野について詳しい説明や解説をしてもらいました。参加者は、鹿児島市について知らないことが多かったようで、その説明を興味深く聞いていました。

この新しい試みは半ばは成功しました。これからの活動に一つの示唆を与える試みとなりました。

「子どもミーティング」の目的が、中高生の視点から、市の行政を批評し新しい提案をしてもらうことにあるのは、いうまでもありません。大人には、市政に対して発言する機会が多くありますが、子どもにはその発言の機会があまりありません。しかしこれからの地域の諸活動を担っていくのは若い世代ですから、大いに発言してもらい、その提案に大いに期待したいと思います。

また、この集まりは、学年を越え、学校を越えた集まりですので、いわゆる仲間内ではないそのような場で自分の意見を述べ、相手に理解してもらうという、社会性を養うことにも役に立ちます。その意味で、発言する中高生の育成という、教育的な目的もあります。

現在の教育があまりにも学校内に閉じこもっていますので、まず鹿児島市を知ることから始めて、社会に対して視野を広げていき、そのような知識や批評精神を、新しいグループや生活の場で発言していく新たな経験にもなることでしょう。

鹿児島市という私たちの生活する環境、それは自然環境であり社会的経済的環境であり歴史的文化的環境でもあるのですが、中高生がそのような環境に関心を持ち、その生育発展のために、これからも大いに発言していってくれることを切望しています。

子どもミーティングコーディネーター（鹿児島大学名誉教授）

石田 忠彦